

## あるけあるけ災害に強いまち港楽



### 【港楽学区】

■世帯数：3,711 世帯

■人 口：8,566 人

■面 積：1.316km<sup>2</sup>

平成 24 年 4 月 1 日現在

### 1 活動・取り組みの内容

- ・ 災害に直面した場合、どこへ避難してどのように対応するかを事前に確認するために、自分の家から避難場所までの経路や時間を確認しながら学区内を歩くイベントを開催。参加者数は約 90 人。
- ・ 避難場所については説明を聞くだけでなく、実際に歩いて自分の家からの距離、時間を確認することが重要。

#### 【住民への PR 方法】

チラシの回覧

#### 【アピールポイント】

単なる歩け歩けで学区民の親睦を深めるのみではなく、いつかは起こるであろう災害にどのように対応したらよいかという認識も持つことができ、一石二鳥です。

### 2 きっかけ、背景

近年、日本各地が地震や津波の災害に見舞われる中、東海・東南海連動地震では、港区においても液状化などの被害が発生すると予想されており、被害を小さくするにはどのように対応したら良いかを考えておくことが必要である。そこで、

学区内をくまなく歩く行事に避難場所の確認を付加した内容で実施することを考えた。

### 3 実施の体制

#### (1) 運営メンバー

区政協力委員、消防団員 計約 20 人

#### (2) 他団体との協力

名古屋みなと災害ボランティアネットワーク



### 4 実施のスケジュール

H24 年 5 月 体育委員協議会にて内容の模索



- 6 月
- ・「ウォーキング港楽」を災害対応型ウォーキングとすることを検討
  - ・災害対策付加式ウォーキングの実施

### 5 成果と課題

#### (1) 成果・効果

参加者が増加し、住民間の交流が深まった。また、災害に対する住民の意識が高まった。

#### (2) 苦労した点

住民の理解を得ること、活動の担い手不足。ありきたりな「歩け歩け」から若い世代の災害に対する理解が深まった。

#### (3) 今後の課題・展望

他の団体と協力し、活動を継続していきたい。